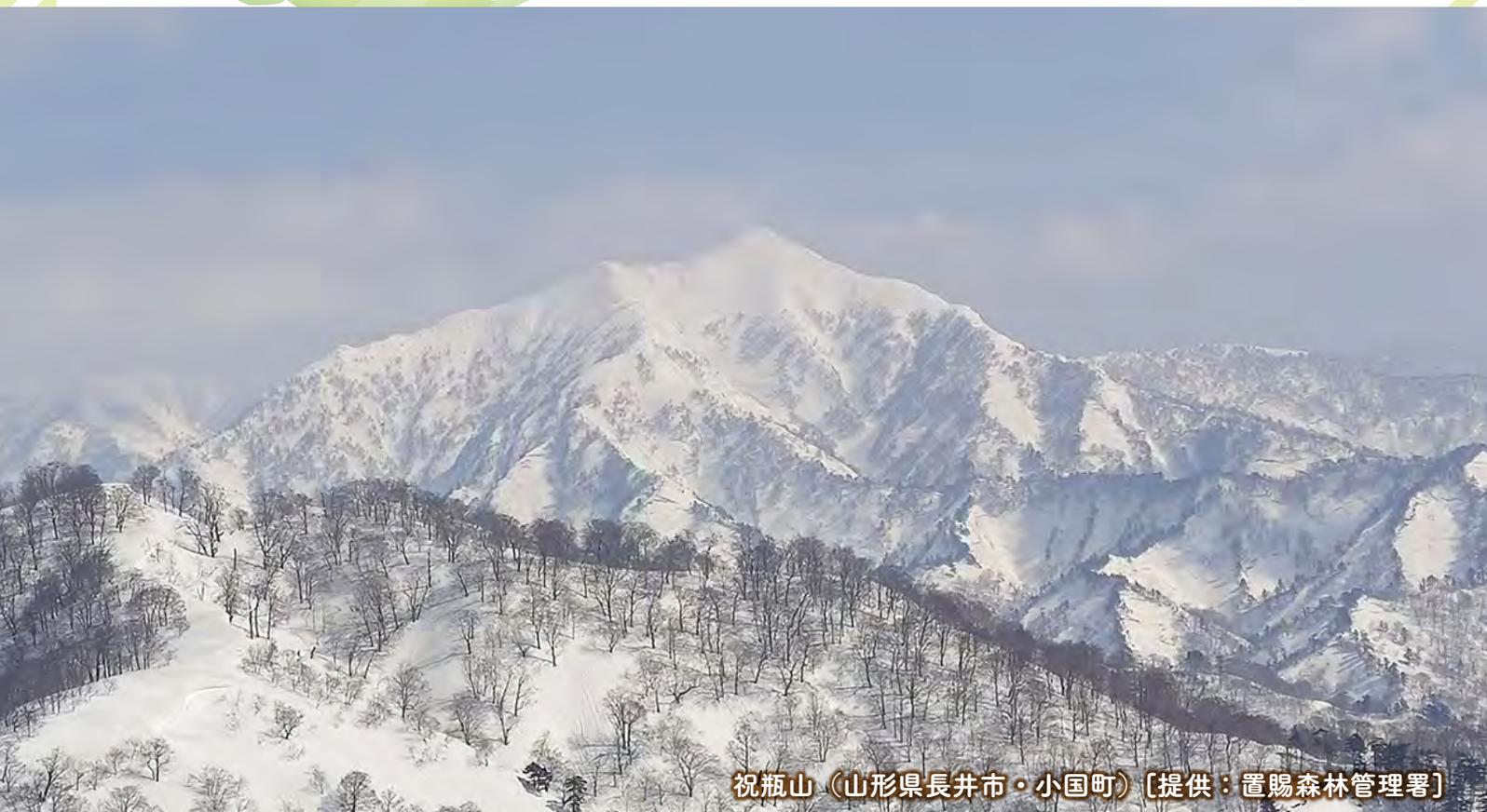




CONTENTS

特集コーナー	2
使える！行政情報&研究・技術の参考情報	3
地域発NEWS	4~7
国有林野所在 市町村の魅力紹介	8~9
地域のこの人	10
イベント情報	11



祝瓶山（山形県長井市・小国町）[提供：置賜森林管理署]



●令和7年度 森林・林業技術交流発表会を開催

1月29日・30日の2日間、あきた芸術劇場ミルハスで開催しました。一般の部は、森林技術、森林ふれあい・地域連携、森林保全の3部門33課題、中学・高等学校の部は3課題の計36課題の発表がありました。各部門の最優秀賞は、本号特集コーナーをご覧ください。

●「昭和100年記念分収造林」(グリーン・シェアリング)の公募開始

「昭和100年」の機運を盛り上げるため、記念分収造林を実施します。多様な樹種を育て、豊かな環境を育み、次世代へ引き継ぐ責任を分かち合うことをコンセプトに「グリーン・シェアリング」と名付けました。具体的なご相談は、最寄りの森林管理(支)署へお問い合わせください。



「昭和100年記念分収造林」ポータルサイト



分収造林候補地について(東北森林管理局管内)



使える!

## 行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

### 「レクリエーションの森」における 取組について

林野庁では、全国の国有林内に、美しい森林景観や豊かな自然に親しんでいただけるように「レクリエーションの森（以下「レク森」という。）」を整備しています。



「レク森」の共通ロゴマーク

東北森林管理局管内では、116箇所、40,780haが「レク森」に指定されています。

また、特に優れた森林景観を有するなど観光資源としての潜在的な魅力が認識されるレク森を平成29年4月に「日本美しい森お薦め国有林」として全国で93箇所、そのうち管内においては、11箇所が選定されています。

箇所は、西目屋村「白神山地・<sup>あんもん</sup>暗門の滝自然観察教育林」、八幡平市「<sup>やけはしり</sup>焼走自然観察教育林」、北上市「<sup>げとう</sup>夏油高原野外スポーツ地域・<sup>げとう</sup>夏油自然観察教育林」、釜石市・大船渡市・住田町「<sup>ごようさん</sup>五葉山自然観察教育林」、秋田市「<sup>にべつ</sup>仁別自然休養林」、にかほ市「<sup>ちようかい</sup>鳥海自然休養林」、酒田市「<sup>ぼんり</sup>万里の松原自然観察教育林」、寒河江市「<sup>はやま</sup>葉山風景林」、尾花沢市「<sup>な たぎりとうげ</sup>山刀伐峠風景林」、山辺町「<sup>しらたか こく</sup>白鷹虚空蔵山風景林」、小国町「<sup>ぬくみだいら</sup>温身平風致探勝林」があります。

皆様も是非、お近くのレク森に足を運んで見てはいかがでしょうか。新たな発見やその地域の魅力を実感できるかもしれません。

なお、お出かけの際は、地域の観光地に関する情報、道路状況や天候等の情報収集を行い、安全に留意したうえで、お楽しみください。

○詳しい情報は、林野庁ホームページからご覧いただけます。

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/katuyo/reku/rekumori/index.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/index.html)



レクリエーションの森：林野庁

ご関心のある方は、東北森林管理局保全課  
(TEL:018-836-2142)へお問合せ下さい。

### 樹木の形成層活動・木部形成の 季節変化を細胞レベルでモニタリング

樹木は、樹幹の内側の木部と外側の樹皮との間に存在する維管束形成層細胞（以下、形成層細胞）が分裂、分化し、樹幹の内側に新たな木部細胞を蓄積することで幹が太っていきます（写真1）。形成層細胞の分裂活動には、活動期（分裂期）と休眠期を繰り返す周期性があり、温帯や冷温帯では、春～秋が活動期で、秋～冬に休眠期を迎えます。形成層細胞の分裂後に分化する木部細胞の種類やサイズも季節によって変化し、樹種に固有の年輪構造をつくりだします。

弊所では、年輪構造が異なる様々な樹木の形成層活動期間や木部形成の季節変化パターンを明らかにするために、樹幹から定期的に木部・形成層・師部を含むブロック試料を採取し（写真2）、光学・偏光顕微鏡や共焦点レーザー顕微鏡等の各種顕微鏡によるイメージング技術を使い、形成層や木部の組織を細胞レベルで直接観察しています。これまでの観察から、同じ場所に生育していても樹種が異なると形成層活動期間が異なることや、同じ場所に生育する同樹齢のスギでも個体によって形成層活動の停止時期が大きく異なることが分かってきました。これらの知見を基に、今後予測される気候変動下での樹木の肥大成長量や木材の生産量、材質がどのように変化するかを明らかにしていきたいと考えています。

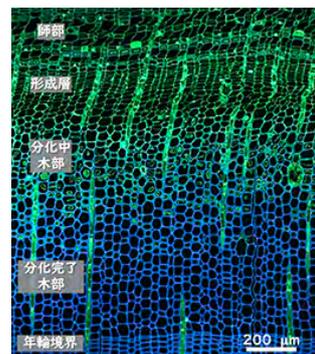


写真1. イチョウ横断面共焦点レーザー顕微鏡像



写真2. サンプルングの様子

ご関心のある方は、秋田県立大学木材高度加工研究所(TEL:0185-52-6900)へお問合せ下さい。

# 地域発NEWS

(治山・林道事業の取組)

各(支)署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

## 林道への鉄鋼スラグ(副産物)の活用

岩手

岩手南部森林管理署遠野支署

林道は、森林が持つ役割を適切に発揮できるようにするために作られた道路であり、安全に林道を走行できるように、維持・管理する必要があります。当支署では、林道の路面として一般的に使用されている碎石に代えて、鉄鋼スラグを積極的に使用しています。

鉄鋼スラグとは、鉄鋼製造の工程で出る副産物で、その特徴としては、水と反応して固まりやすい・崩れにくい・硬くて摩擦に強い・雨天時でも施工ができる、などがあります。実際に当支署では、平成29年度以降、現在までに林道新設工事に鉄鋼スラグを使用していますが、大雨等による被害は発生していない状況です。

鉄鋼スラグは、利用しなければ産業廃棄物処理され、ゴミとして扱われることから、利用することで環境負荷の低減に寄与しています。また、鉄鋼スラグは、船により輸送されてきますが、当支署は港から近く、トラックでの運搬費も安く済むため、コスト削減にもつながっています。

今後も林道の役割を十分発揮できるよう、新たな工法や工夫を取り入れながら、災害に強い道づくりを行っていきます。



鉄鋼スラグを活用した林道

## 重要な森林「保安林」

青森

下北森林管理署

「保安林」とは、豊かな水を育むこと(水源のかん養)、土砂災害の防止等の目的を達成するため、農林水産大臣や都道府県知事が指定する森林のことです。保安林はその指定の目的により17種類あり、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されています。

当署が管理する保安林は、75,263haとなっており、これは下北管内の国有林面積の86%を占めています。保安林の機能を維持するために、当署では、許可なく伐採や開発が行われていないかパトロールするとともに、伐採した後には決められた方法で植栽を実施しています。また、豪雨などの自然災害により被災した保安林の復旧を図るため災害復旧工事等を行っています。

近年では、保安林の一部を含めた再生可能エネルギー事業の候補地として検討されることが多く、「保安林での事業は適正か」など、検討を進めながら保安林の維持管理に努めています。

これからは、予測が難しい自然災害や自然の力を有効に活用できる再生可能エネルギー事業など多くなることが予想されることから、保安林の重要性を再認識し、未来へと引き継がれるべき自然環境を守るために、努力してまいります。

保安林の詳細はこちらへアクセス→



災害復旧工事(保安林)



保安林の種類別の指定目的



下北の国有林

# 地域発NEWS

(森林整備等の取組)

各(支)署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

## 森林資源の循環利用に向けて

岩手

三陸北部森林管理署久慈支署

森林は、生育の過程で二酸化炭素を吸収し、炭素を蓄えており、森林から伐られた木材を使うことは、炭素を貯蔵することにつながります。そして、伐採跡地に新たな木を植えて育てることで持続的な循環利用が可能となります。

しかし、日本の林業は、厳しい自然条件下での人力作業が多く、木材(丸太)販売の収入に対して、伐って植えて育てるために係る経費が高くなっています。そのようなことから、作業の軽労化・効率化を進めるとともに、丸太の販売収入を向上させることが求められています。

このため、下刈(草刈り)の省略化や、全ての雑草木を刈らない筋刈りに変更する効率化の検証など、様々な取り組みを行っています。併せて、木材価格の引き上げに向け、市場の需要に応じた製品(丸太)を生産できるよう、林業事業体を対象とした採材現地検討会を実施しています。検討会では、丸太の価値を高める太さや長さによる需要を把握した上で、曲がりや腐れなどの価値を下げる欠点を除き、かつ、木を余すことなく加工するための採材(伐採した木を丸太に加工する作業)の検討及び試験採材を行いました。引き続き森林資源の循環利用に向けた取り組みを行って参ります。



切断箇所を検討している様子

## 早生樹ユリノキの普及を目指して

秋田

由利森林管理署

ユリノキは、モクレン科ユリノキ属に属する北米原産の落葉高木の一様で、幹の高さが45mに達することもある大きな木です。日本では主に街路樹として植えられており、東京国立博物館本館前にも植栽されています。

一般的にスギやヒノキなどの針葉樹は、苗木を植え付けてから伐採するまで40~50年にかかるといわれていますが、早生樹(成長の早い樹種)であるユリノキは20年以内での伐採が可能といわれています。また、材質は比較的軟らかく加工がしやすいため、建築材や家具などに広い用途があり、注目がされています。

当署では昨年度、森林技術・支援センターと協力し、ユリノキの試験地を設定しました。今年度は当署職員による生育状況などの調査を実施し、今後はデータの比較検証を行いながら、植栽に適する林地の条件や造林樹種としての可能性の評価を行っていくこととしています。(写真は植栽後1年が経過したユリノキ。植え付け時は約100cmの高さ。身長170cmの職員と比較してもその成長の早さが伺えます。)

東北地方におけるユリノキの普及を目指し、今後も継続的な調査・検証に取り組んで参ります。



植栽後1年のユリノキ

# 地域発NEWS

(病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組)

各(支)署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をしてたりしています。

民・国連携したナラ枯れ被害対策に向けて!

青森

三八上北森林管理署

ナラ枯れ(ブナ科樹木萎凋病)はミズナラ、コナラなどの樹木が集団で枯れていく森林被害です。当署管内では令和6年度に初めて横浜町、六ヶ所村でナラ枯れ被害が確認され、今年度は野辺地町、東北町、七戸町へと被害が拡大しています。

これを受け、当署及び県、市町村等で組織する上北地方林業振興協議会では令和7年10月20日、ナラ枯れ被害対策をメインテーマとして「令和7年度森林・林業勉強会」を開催しました。当日は、上北地方の市町村林務担当者、森林組合職員等34名が出席しました。

勉強会ではナラ枯れ被害の概要、伐倒くん蒸処理に関する説明、UAV(無人航空機)による上空からの被害木探査等について県及び森林管理署職員から解説及び実技指導等を行いました。

出席者はそれぞれの講義に真剣に聞き入っていたほか、出席者同士情報交換を積極的に行うなど、勉強会の時間を有効に活用していました。

この勉強会の取組を今後につなげ、民有林と国有林で連携しながら、効率的かつ効果的なナラ枯れ被害対策に取り組んでいきます。



ナラ枯れ防除の説明

政令指定都市の森林公園における取組み

宮城

仙台森林管理署

杜の都仙台市内にある台原森林公園は仙台駅から地下鉄南北線で10分ほどのところに位置する大規模な森林公園であり、そのほとんどが国有林です。

緑豊かな森林の中を縫うように造られた園路を歩くことで、市街地の中にありながら森林浴やウォーキングを楽しんでもらえる公園として活用されています。

季節によって様々な風景を楽しむことができる台原森林公園ですが、昨今は、松を急激に枯らしてしまう松くい虫の被害が散見されるようになってきています。

万が一、松が枯れてしまうと景観が悪くなることに加え、風が強く吹いた時などに倒れることも考えられます。

そこで当署では、松の木々を守るため、あらかじめ樹幹注入(松くい虫対策用の薬剤を幹の中に注入)を行っています。

今後もこうした取組みを継続し、地域に根差した国有林を、多くの方々に安心して親んでもらえるよう、管理に努めてまいります。



薬剤を注入する作業の様子

# 地域発NEWS

(ふれあい・管理・総務等の取組)

各(支)署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

## 地域のこども園と木育体験!

青森

津軽森林管理署金木支署

当支署では、青森県内の森林管理署では初めてとなる「木育体験」を平成30年度から継続して実施しています。この活動は、地域の就学前児童を対象とし「森林」・「木」に親しむためのきっかけづくりを目的としています。

昨年度までは、職員がヒバの端材を使って準備したコースターにお絵描きをしたり、松ぼっくりでクリスマスオーナメントの作製、県産材の木製玩具で遊んだりしていました。今年度は木に関する絵本の読み聞かせや紙粘土が出来るまでのおはなし、紙粘土を使ったリース作りやヒバの端材を利用した丸太切り体験をしました。

園児たちは、職員からのおはなしを聞いて今まで知らなかった事に驚きの声を上げ、紙粘土リース作りでは松ぼっくりやポンポンを丁寧に飾り付けていました。丸太切り体験では、初めて使うのこぎりで職員の補助を受けながら一生懸命切っていました。

参加したこども園の先生方からは、「毎年参加していますが、子どもたちと一緒に楽しんでいます。来年も参加したいです」との声もあり、今後色々なアイデアをだして子どもたちが「森林」・「木」に興味を持ってもらえるよう続けていきます。



丸太切り体験をする園児

## 遊々の森と、さくら回廊事業の取組

山形

山形森林管理署最上支署

国有林では「遊々の森」として、国有林の一部をフィールドとして提供し、自然活動の体験、学習を実施していただく団体を募集しており、令和7年度は、新庄市の「NPO 法人地域づくりフォローアップセンター」と「夢・語らいの森(遊々の森)」の協定を結んでいます。

同センターは、今回協定を結んだ国有林に隣接する民有地広場を所有しており、そこは多くの子供達が週末のイベントに参加する地域の交流の場となっています。今回、隣接する国有林が伐採されたことから、この国有林での新たな植林を通じて地域の方々とより一層交流を深められたらと「是非植林から行ってみたい」との希望があり今協定締結に至ります。

また、同センターは山形新聞、山形放送8大事業の一つでもある「2025 最上川さくら回廊事業」にも応募し、県内6箇所をさくら色に染める企画の候補地の一つに選定され、令和7年11月1日には新庄市が主催となって植樹式を実施しました。当日は新庄市長をはじめ、山形新聞公募当選者5名、一般参加4名、東北農林専門職大学、新庄ライオンズクラブ会員などから60名が参加し、オオヤマザクラと広葉樹の植林が実施されました。今後、この里に淡い桜の花が咲き誇るのも、もうすぐのようです。



オオヤマザクラの植樹風景

# 国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



## 宮城県本吉郡南三陸町

宮城北部森林管理署

人口 11,211人 (R7.11.30現在) 面積 163.4km<sup>2</sup>

市町村の木 タブノキ 市町村の花 ツツジ

南三陸町は宮城県の北東部に位置し、東は太平洋に面し、北は気仙沼市、南は石巻市、西は登米市にそれぞれ接しています。リアス海岸特有の猛々しい風光を有する三陸復興国立公園の一角を形成しています。

南三陸町の荒島・椿島・竹島には、それぞれタブノキが自生しています。

タブノキには、太陽の光に対して葉と葉が重ならないようにするという習性があり、タブノキの群生の下で上を見上げるとタブノキの枝と枝の間は、まるでだれかが刈り込んだような光の境界線が描かれています。



下から見上げたタブノキ

南三陸町には、イースター島のトゥキー族が製作した“本物”のモアイ像があります。



イースター島の石を使い彫られたモアイ像 (左)

このモアイは、チリ共和国と南三陸町の友好の証、震災復興のシンボルとして贈られたもので、目は白サンゴと黒曜石で作られており、プカオと呼ばれる帽子のようなものが乗っています。

南三陸キラキラ丼は、地元南三陸産の海鮮を贅沢に使い、見た目も味も豪華なその名の通り“キラキラ”した丼ぶりのことです。その時期に合わせた旬の食材を使って作られる丼ぶりは、春つげ・うに・秋旨・冬のみかくづくしの計4種類となっています。



南三陸キラキラ春つげ丼 (食事処 松原)

環境にやさしく、南三陸の豊かな自然を心ゆくまで楽しめる新しいアクティビティ「HOBIE」。

三陸復興国立公園の一部であり、さらにラムサール条約湿地にも登録されている、世界的にも貴重な自然環境である志津川湾を舞台に持続可能なアウトドア体験をすることができます。



燃料を一切使わない足漕ぎカヤック「HOBIE」

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



お問合せ先：南三陸町商工観光課 Tel. 0226-46-1385

# 国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



## 秋田県横手市

秋田森林管理署湯沢支署

人口 78,788人 (R8.1.31現在)

面積 692.80km<sup>2</sup>

市町村の木 りんご

市町村の花 さくら

秋田県南部に位置する横手市は、東の奥羽山脈・西の出羽丘陵に囲まれた横手盆地に位置しており、県内では2番目に人口が多い自治体です。

8市町村が合併して誕生した横手市には、それぞれの地域に根付いた伝統行事が数多くあります。毎年8月に「横手送り盆まつり」が開催され、江戸時代に飢饉による餓死者を供養したことを始まりとする屋形舟の繰り出しでは、各町内で作った屋形舟が、花火を背景に激しいぶつかり合いを見せます。



送り盆まつりの屋形舟繰り出しは圧巻です

また、横手市は県内でも特に豪雪地帯として知られ、その雪を活かした「かまくら」は、約450年もの歴史がある伝統です。かまくらの中には、江戸時代から水神様をまつっており、小正月行事として親しまれてきました。現在では「横手の雪



「横手の雪まつり」のかまくら。2026年は、2月13日・14日に開催します

まつり」などでかまくらを楽しむことができ、かまくらが行われる2月第2金曜日・土曜日には、中に子どもたちが入って、「はいってたんせ」「おがんでたんせ」と言いながら、あまえこ（甘酒）やお餅をふるまいます。

そして、冬を越した豊富な雪解け水は、横手の「んめもの（美味しいもの）」を支えます。県内有数の穀倉地帯として、「あきたこまち」や「サキホコレ」をはじめとした美味しいお米はもちろん、リンゴやブドウ、スイカなどの果物、ビール作りにはかかせないホップも生産していて、まさに農産物の宝庫。発酵文化もさかんで、日本酒やいぶりがっこも横手市を紹介する上では欠かせません。



リンゴは8月下旬から12月にかけて多品種を味わえます

9月下旬には「横手やきそばフェスティバル」と題し、オリジナルレシピを食べ比べられるイベントも行われ、様々な「食」と「農」が、横手市に訪れた皆様のお腹を満たします。



太くてももちもちのゆで麺が特徴の「横手やきそば」

四季折々の景色、そして「んめもの」を堪能できる横手市に、ぜひ来てたんせ～！

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



お問い合わせ先：お問い合わせ先：横手市観光おもてなし課 Tel. 0182-32-2118

森林や林業の仕事の魅力とは?!  
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林  
管理署等で働く人の紹介です。

## デジタル時代に林業で働く訳

宮城

宮城県森林整備事業協同組合  
株式会社村井林業 村井 大貴さん

私は、林業は現場仕事でつらい、アナログ作業ばかり、職人さんにこきつかわれる、こういったイメージで5年前に林業に就職しました。

しかし今の林業はIT化、デジタル化が進み普段からスマホやパソコンなどに触れる機会の多い若い世代がより活躍する業界に変わってきました。

実際に私は、現場でスマホを使用し電子黒板による写真管理やパソコンを使い作成した地図を使って山林の境界を探す作業などを行っています。

現時点で、若い方が林業業界全体で少ないため、若い方の力は非常に重宝され輝ける環境になっています。こういったスマホやパソコンなどの普段から使っているデジタル技術を林業に応用し作業しながら、自然を味わうこともできる環境が林業の面白さの一つだと思います。

さらにこれからも林業はIT化・デジタル化が進んでいく分野なので現場仕事だからと思う前に一度林業に触れてみるのも良いと思います。



(上) 現場で使用されるIT機器  
(下) 現場でIT機器を使っている様子

## 天然秋田スギと世界自然遺産を感じられる職場で

秋田

米代西部森林管理署 ニツ井森林事務所  
首席森林官 工藤 大輔さん

ニツ井森林事務所の管轄する国有林は、能代市と藤里町にあります。管内には、天然秋田スギとブナ、ミズナラ等の広葉樹が混交した自然林が広がる七座山<sup>ななくらやま</sup>、原生的なブナ天然林が残る白神山地世界遺産地域を抱えています。そう、皆さんも一度は聞いたことのある秋田スギと世界自然遺産が、私の仕事場の大きな特徴です。

多くの人たちがこの自然を楽しむために訪れてくれています。最近ではクマの目撃情報が増えてきており、入林者に対して、目撃情報を伝えるだけでなく、「単独行動を避け、鈴やラジオなどを大きく鳴らすとともにクマ撃退スプレーを携帯しましょう」といった呼びかけ活動を心掛けています。

また、大雨で林道の路面が深く掘れたり、小沢からの土砂流出により林道が通行止めとなったりすれば、地元自治体に状況と復旧の見通しを素早く伝えるパイプ役を努める一方、林道開通のため、建設機械チャーター業務では、流出土砂撤去の作業指示をする監督も行います。こうしたひとつひとつの仕事が、入林者の安全と楽しい思い出につながるものと思ってやりがいを感じています。

こんな職場はなかなかありませんし、仕事の魅力もあります。一緒に仕事してみませんか。



七座山の天然秋田スギ

## 青森県

### 3/15 (日) 3月日曜観察会

毎月第3日曜日を定例として開催している梵珠山周辺での楽しい自然観察会です

主催 青森県立自然ふれあいセンター

### 3/22 (日) にしめやアニマルトラッキング

講師：奈良岡 隆樹氏（青森森林インストラクター会会長）、要申込

主催 白神山地ビジターセンター

### 4/22 (水) 春の雪山登山

冬季閉鎖していた傘松峠付近からスタートし、北八甲田の雄大な景色を眺めながら残雪期の櫛ヶ峯へ登ります

主催 (一財)自然公園財団十和田支部

## 秋田県

### 開催中~3/22 (日) 秋田県立農業科学館「研究機関紹介展」

秋田県立農業科学館において、当センターが取り組んでいる林業の研究や林業大学校について実物を展示しながらご紹介いたします

主催 秋田県

### 3/16 (月) 講演会「人身被害を防ぐために〜ツキノワグマの生態と対策〜」

ツキノワグマの行動特性や出没の要因を知り、事故や被害を防ぐために必要な心構えと具体的な対策を学びます

主催 由利本荘市

## 岩手県

### 3/14、15、21、22、28、29 (土) (日) (土) (日) (土) (日)

### 網張の森雪上ハイキング

真っ白く雪化粧した網張の森を、ガイドと一緒にスノーシューハイク。雪原に残る動物の足跡や、森の奥にたたくマザーツリーにも会えるかも

主催 網張ビジターセンター

### 3/14 (土) 残雪の森さんぽ

森林インストラクターのガイドにより残雪の森をゆっくり歩いて木々の冬芽などを楽しみます

主催 岩手県民の森

### 3/15 (日) 残雪のブナ森でクマ棚を探そう

木々に残る爪痕や秋の食事痕「クマ棚」を探す調査体験、クマが利用した大きな樹洞の見学など、痕跡探しを通して森で暮らすクマの生態を知り、適切な距離感を学びます

主催 八幡平ビジターセンター

### 3/15 (日) 森の観察会「虫の目で見るネイチャーランド」

虫のプロである講師の伊達功先生の説明のもと、春を目前の森林公園に暮らす虫たちを観察します

主催 岩手県滝沢森林公園・野鳥観察の森ネイチャーセンター

## 宮城県

### 3/14 (土) 楽しいスノーシュー

今シーズン最後のスノーシューイベントです。ゆっくり雪上を歩きましょう

主催 月山ビジターセンター

### 3/14、15、4/4、5、11、12 (土) (日) (土) (日) (土) (日)

### 女川ミツマタ観察ツアー

女川の自然や地域の話を変えながら、静寂な森をやわらかな黄金色に染めるミツマタを観察します

主催 (一社)女川町観光協会

### 3/21 (土) 泉ヶ岳自然ふれあい塾

不登校傾向がある児童生徒と保護者を対象に、豊かな自然の中でゆったりと過ごす時間を提供します。

主催 オーエンス泉岳自然ふれあい館

### 4/11 (土) カレンダー作り

ドングリや木の実を使って万年カレンダー作りをします

主催 宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター「ことりはうす」

### 4/19 (土) 泉ヶ岳山開き

泉ヶ岳の本格的な登山・レジャーシーズンの始まりを告げるもので、今年66回目を迎えます

主催 仙台市

## 山形県

### 3/29 (日) シェアリングネイチャー体験会

自然体験活動に興味のある方、どなたでもお子様も一緒に体験できます

主催 山形おいたまネイチャーゲームの会

### 4/4 (土) ブナの根開け観察会

月山2合目付近のブナ林観察会。残雪の上を歩いていきましょう

主催 月山ビジターセンター

### 4/11~19 (土) (土) 令和8年しらたか古典桜の里 さくらまつり

春の白鷹町をのんびり巡ってみてはいかがでしょうか

主催 (一社)白鷹町観光協会

### 4/12 (日) 御堂森イワウチワ鑑賞トレッキング

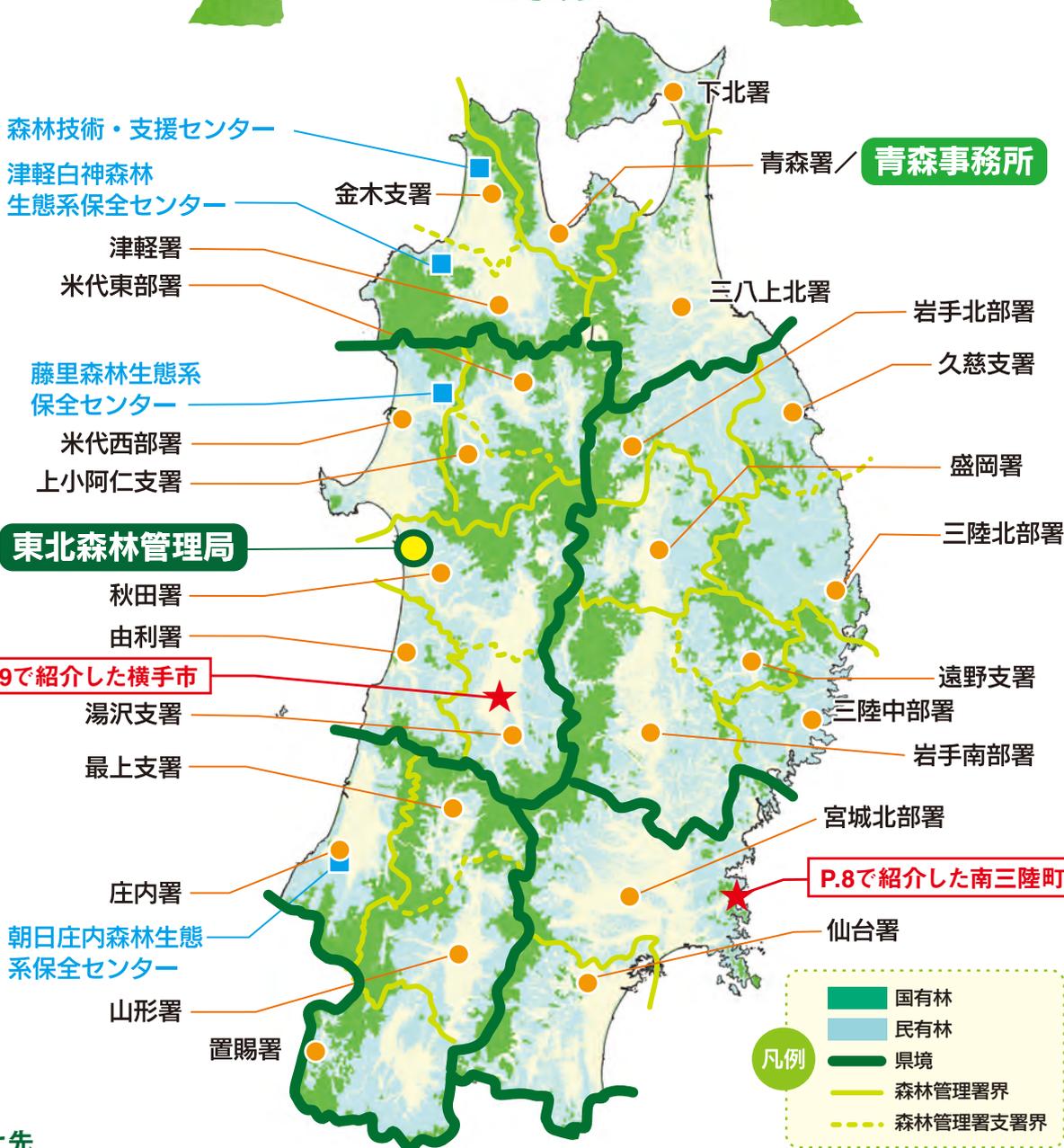
春、目覚めの時期「やまがた百名山」御堂森イワウチワ鑑賞に出かけよう!!

主催 細野の山を愛する会



# 東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



## お問合せ先

青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800	仙台署	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	米代東部署	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131	上小阿仁支署	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131	米代西部署	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131	朝日庄内センター	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670				

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.264

●発行日/令和8年3月

●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください  
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



## 表紙写真

冬季の積雪時のみ登山が可能な白太郎山山頂から「東北のmatterホルン」と呼ばれる祝瓶山を望む(朝日山地森林生態系保護地域内)

本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。